

北海道大学サイエンスフェスタ
博士課程学生の研究発表ポスター会場



きぼうの虹 KIBO NO NIJI

発行所
北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 四面 **大学文書館へ行こう 第20回**
- 五面 **SDGs 第5回**
- 八面 **北大生協きぼうの虹フォトコンテスト開催!!**

北海道文書館学井上 高聡
北海道大学SDGs加藤 悟
事業推進部門教授

北海道大学キャリアセンターと先端人材育成センター。どちらも、北海道大学の学生に「キャリア支援」「就職支援」を行っています。「学部から博士まで一貫したキャリア支援を提供する」ため、個別キャリア相談や合同企業説明会、様々なセミナーを開催していますので、就職活動で相談ごとがある学生組合員の皆様、ぜひ両センターをご利用ください。

そして、北大では学生が所属する各部署等での支援に加え、様々な組織が主体となり、多様な「キャリア支援」「企業と連携した教育」が行われています。ここ2年程、学内外から非常に多くのご依頼があるのが、本学大学院生と地域や企業との交流の場の創出です。新しく北大の特色になってきたと(個人的には)思える大学院教育推進機構としてのキャリア教育プログラムをご紹介します。

① 北大と地域の一大イベントに成長！北海道大学サイエンスフェスタ

主催の大学院教育推進機構、キャリアセンターと函館キャンパススタッフで協力して開催しているサイエンスイベントです。2022年12月に初開催し、約1万人を動員しました。北海道大

学の学生、特に大学院生の活動や研究をもっと市民の皆様身近に感じてほしいという思いから地下歩行空間(チカホ)やファクトリーといった学外の会場で実施。博士課程学生の研究発表ポスターや

ステージイベントは大盛況となり、学生の研究ポスター投票には、初年度からなんと1,000件以上の一般投票がありました。翌2023年は北海道と札幌市、さらに他大学からも参画依頼があり、東京のイベントにも出展しました。学生の研究発表の場、そして研究と社会が気軽に繋がる、ことができる場の創出を目指し、2024年も東京と札幌で開催予定です。

北海道大学の学生と社会の共創の場の創出
～北大の思いと取組み～

北海道大学キャリアセンター 教育推進機構
高等センター 教育推進機構
大学院教育推進部
博士課程教育推進部
特任講師

川上 あき

Opinion!

② 「共同研究型インターンシップ」の新設

北海道にある高度人材育成機関である北大。特に博士学生の課題解決能力を道内企業と繋ぐ取組として新設しました。企業の実際の経営・事業課題へのアプローチを可能としたことで、200名を超える学生が説明会に参加。74名の大学院生が道内22企業の経営課題の解決に挑戦を始めています。

③ 博士人材フロントランナー事業、発信強化等

博士課程学生が様々な社会連携プログラムに参加する活動を認定したり、企業や自治体と学生の連携プロジェクト、ラジオ番組やSNS等で学生が研究への思いを発信できる場の創出など、社会との繋がりがや学びを勉強・研究に還元できるような企画を複数新設しています。

いずれも新しい挑戦ですが、北大の複数の部署が連携して取組むことで実現できています。北海道の地域中核大学として、そして世界で活躍する学生が学ぶ大学として、これからの学生と社会を繋げる新しい挑戦を続けていきたいと思えます。

2024年度 通常総代会を開催しました

2024年度通常総代会
は5月22日(水)開催

5月22日(水)クラーク会館講堂において、北大生協2024年度通常総代会が開催されました。

総代164名(本人出席60名、書面出席104名)の参加により、すべての議案が賛成多数で決定承認いたしました。

2023年度を振り返り、
2024年度の計画と予算を決定しました

議長に佐藤さん(法学部3年)を選出し、坂爪理事長(農学研究院教員)が生協理事会を代表して挨拶しました。続いて渡邊常務理事(農学部3年)と齋藤専務理事より第1〜4号議案を提案、芳賀監事会議長(先端生命科学研究院教員)が監査報告を行い、質疑、討論に入りました。総代から2本の発言があり、齋藤専務理事より回答しました。その他事前に寄せられた意見や質問については後日

報告書にてご紹介いたします。

討論後、議案に対する採決を行い、全議案を賛成多数で承認、決定いたしました。

また役員選挙は立候補が無かったため定数内の理事会推薦者全員の当選が役員選挙管理委員会より報告され、下記の役員の就任を確認し、以上をもってすべての議事が終了しました。

議事終了後は総代参加者はクラーク食堂に移り、軽食をとりながら総代同士、生協職員とも交流を深めました。

2024年度事業計画

累積赤字は1億4千万円余りとなり、厳しい経営状況が続いています。昨年の総代会で決定した「北大生協三カ年再生計画」に沿って経営再建に取り組みます。組織課題の4つのポイント、事業課題の5つのポイントを着実に執行し、赤

字の解消をすすめます。

あらためて組合員のみなさまにも、より一層、総代会議や総代のつどい、店舗ミーティングや組合員の声カードなどさまざまな機会を通じてご意見をいただき「北大の中にある私たちの生協」と実感を持てるよう努めてまいります。みなさまの積極的なご意見と参画をお願いいたします。



2024年度 役員名簿

〈理事長(代表理事)〉
坂爪 浩史

〈専務理事(代表理事)〉
齋藤 真廣

〈理事〉

今村 央

小川 美香子

小田切 和博

金川 眞行

コリー 紀代

佐々木 好美

林 忠一

渡部 典大

荒金 晋太郎

石田 かなり

石本 万象

奥山 莉子

榎井 太智

栗栖 蓮

杉山 雄介

寺垣 直也

長野 穂香

野呂 優輝

羽木 康祐

松田 和歩

山下 隆

山邊 稀羅

渡邊 稀羅

〈監事会議長〉
芳賀 永

〈監事〉

岡野 泰樹

山中 拓也

山崎 瞳子

いじわるじいさん

居酒屋の店主が「募集しても誰も来ない」と愚痴る。食堂のレシートに「アルバイト募集中」の文字。人手不足は深刻だ▼技能実習生だったバトナム人チャーター・ミーさんが頭をよぎる。5年前英国で、トラウマのコンテナから遺体で発見された。日本で3年間働き帰国。4ヵ月後、高賃金を求め密入国を試みた結果だった▼「エスニック国道354号線」(室橋裕和著)は、群馬から茨城への国道沿いの町に集まる外国人労働者の姿を追っている。工場や農場が多く、外国人のコミュニティができている。閉店だった店が多国籍レストランなどになり、観光の目玉になっている町、技能実習生の低賃金が問題になっていく所。いずれも彼らなしには、地域産業が成り立たない実態がある▼チャーター・ミーさんは続けて働けたのだが、彼女が選ばなかった日本の技能実習制度。それに代わる育成就労制度が2年前から有識者会議で議論されていた▼自国を出て働きたい人がいて、人手不足の国がある。互いを尊重しつつ共に暮らせる制度になることを切望していたが、6月国会で、育成就労制度も含む「改正出入国管理法」が、問題含みのまま成立した。パーティ裏金問題に隠れて、国会の議論がよく見えなかった。今後は同法の運用から目が離せない。(今日子)

恐竜研究でモンゴル留学

～留学生活のはじまり編～

北海道大学大学院理学院 自然史科学専攻 地球惑星システム科学講座
日本学術振興会 特別研究員DC2
博士2年 大藪 隼平



出発日の5/30は目まぐるしい1日だった。期待と不安に胸をかなり膨らませ、成田空港で搭乗手続きを済ませる。調査道具や衣服、生活用品ではち切れそうなボストンバッグとスーツケースがベルトコンベアに乗せられ運ばれていく。モンゴルに行くのは3回目だが、今回はちょっと違う。12月まで約7ヶ月、首都ウランバートルのモンゴル科学アカデミー古生物学研究所(写真1)にて恐竜の研究を進めながら、自力で生活していかないといけない。海外に長期滞在するのは初めてだし、異国の地でどこまでやっていけるのだろうか……。不安の方が大きくなりつつ、保安検査場を通過し、搭乗ゲートへ向かった。



【写真1】モンゴル科学アカデミー古生物学研究所の外観



【写真2】アパートの自室。ベッド、デスク、冷蔵庫のあるシンプルな部屋である。

5時間半ほどでチンギスハーン国際空港に無事到着した。研究所の方にウランバートルの中心地まで送迎してもらい、あらかじめ契約していたアパートに到着した。このアパートは入居者それぞれの個室(写真2)と共同のキッチン、バスルームがあるシェアハウス型であり、すでに中国の方が3人生活されていた。僕の留学生活は、その中にうまく溶け込む形ではじまった。荷物を自分の部屋に収納し、ひと段落したとき、いよいよだな、と実感が湧いた。思えば留学するまでの準備も大変だった。

留学しようと思いつくのは簡単だが、実行に移すのはそう簡単ではない。情報収集から考えると、少なくとも準備に数ヶ月はかかり、ビザの取得だけでもいくつかのプロセスを踏む必要がある。まず、研究所の所長に留学について許可をもらい、研究計画書を相談しながら作成する。次に、モンゴル国の外国人・国籍問題担当行政機関に必要書類(研究計画書、十分な収入の証明書、健康診断書など)を添えて、僕を招待する形でビザ発給の許可申請をしてもらう。ビザ発給の許可が出れば、駐日モンゴル国大使館にパスポートと申請書を提出し、うまくいけば長期滞在ビザが発給される。これだけでもなかなか大変な作業なのだが、並行して研究所近くのアパートを探したり、海外保険に加入したり、海外渡航のためのワクチンを接種しておいたり、研究に必要な備品を発注したり、と大忙しである。また、それに伴ってそれなりの留学費用もグッとのかかってくる。学生の僕からすれば、これほどお金と労力のかかる留学は人生を賭けた一大イベントであるし、それだけ本気で自身の研究に向き合っているのである。

そんな僕がお世話になっている、モンゴル科学アカデミー古生物学研究所(写真1)を簡単ではあるが紹介する。この研究所は貴重かつ科学的に重要な古生物化石を豊富に所蔵している、世界でも有数の研究機関である。もちろん、モンゴルにおける恐竜研究の中心地である。研究所の化石クリーニング室では、発掘調査で発見された化石が日夜クリーニングされており、岩石から綺麗に取り出されている。床には化石を包む石膏ジャケットがゴロゴロと転がっており、クリーニングを待ちこがれている。収蔵庫には、写真でしか見たことのないような貴重な化石が所狭しと保管されている。正直、圧巻である。恐竜研究にもってこいの、最高でクールで素晴らしい環境で研究生活を送れるなんて、こんな贅沢なことがあるだろうか！どうやらあるらしい。この原稿を執筆している現在、本物の化石に囲まれながら、恐竜の化石をモクモクとクリーニングし、研究を進めている(写真3)。夢心地であるが、現実なのである。気を引き締めて、留学生活を送っていきたい。

(次々号につづく)



【写真3】恐竜の化石をクリーニングする筆者。丁寧に周りの岩石を取り除いていく、根気のいる作業である。

大学文書館へ 行こう

第20回 「札幌キャンパス一〇〇年」

北海道大学大学文書館 井上 高聡



理学部物理学科素粒子論研究室旧蔵のダルマ
科学最奥の知の追究は神頼み？

会議室の資料たち

大学文書館の会議室は、会議や打ち合わせの他に、閲覧室の代用、資料見学会、レクチャールの会場と、いろいろの用途に重宝しています。さらに寄贈受けただばかりの資料の一時置き場にもなり、現在は半澤家寄贈の半澤洵博士の胸像、理学部物理学科素粒子論研究室から寄贈を受けたダルマを仮置きしています。かつて正門に掛かっていた「北海道大学」門標、創基百周年を祝賀する提灯行列で使用した「北大百年」提灯も置いています。壁には、岩倉具視揮毫の「演武場」扁額、遠友夜学校旧蔵の新渡戸稲造の書などを掛けてあります。あまりにサイズが大きいので収蔵庫に収めづら

かったり、資料見学会などで短時間飾った後も虫干しと風通しを兼ねてしばらく掛けっぱなしにしてあるといった具合です。

「北海道帝国大学全図」

そんな会議室住まいの資料の一つに「北海道帝国大学全図」があります。横一・五メートル、縦一・四メートルの大きなもので、ガラスの入った重厚な額ともどもかなりの重量があり、移動が大変なため会議室の壁に固定しています。今から九〇年以上前、一九三二年製作の油彩画です。油彩画と言っても色彩はモノトーンです。札幌キャンパスの南東側から北西側に向かって俯瞰するように描いてあります。建物の配置図のように真平面ではなく、航空写真ほどの高

度からの視点でもないため、当時のキャンパスの様子を立体的なジオラマを見るように把握できます。現在と比較してキャンパスの変遷を説明するのにたいへん便利です。

「旧林学教室」（古河講堂）や、昨年からワイン教育研究センター棟となった「旧昆虫学・養蚕学教室」、北海道大学出版会などが使用している「旧図書館閲覧室・書庫」、総合博物館としてお馴染みの「理学部本館」などの現有建物を確認できます。中央ローンやポプラ並木、目を凝らすとクラーク胸像も描き込んであります。

一方、現在では見られないのは、学科ごとに独立していた以前の農学部建物群、「白聖館」として親しまれた旧工学部建物、北十三条通りを挟んで南北



「北海道帝国大学全図」（一九三二年、部分）
正門から中央ローン・農学部教室あたり

に対置していた医学部基礎棟と臨床棟（附属医院）などです。恵迪寮は北十六条にあり、この建物は今の一部が「北海道開拓の村」に移築されています。現在の高等教育推進機構のあたりはグラウンド、北キャンパスを形成している北十八条以北は農場の敷地です。また、北大通りには市電が走り、農場から西側は手稲山まで広野のように土地が広がっています。ここに描かれた多くの建物は、一九六〇年代あたりまでは面影を残していました。その後、姿を消し、建物の建て替えが進みました。

一〇〇年の歴史を織り込んだ 札幌キャンパス

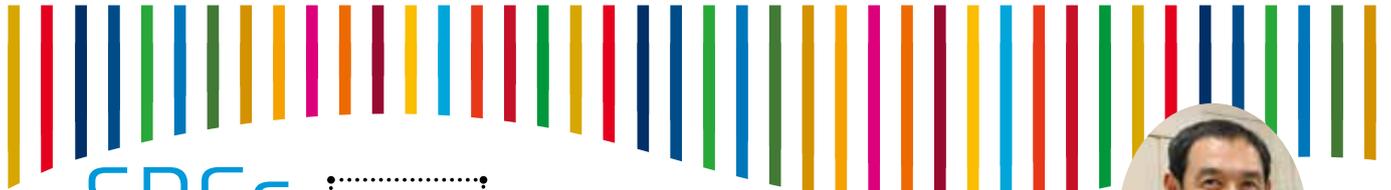
北海道大学の前身札幌農学校が、演武場（現札幌市時計台）のあった札幌駅南側から、現在の地にキャンパスを移したのは一九〇三年です。札幌キャンパスは一〇〇年の歴史を有します。キャンパスを歩くと、移築はなされているものの札幌農学校開校間もない時期の農場施設があり、キャンパス移転時の洒落た建物が残り、戦前の重厚な建築が見られ、高度経済成長期に建て替えられた建物がおもな現役で、近年の機能的な高層建物も目立ちます。札幌キャンパスには一〇〇年の歴史が重層的に併存しています。



大学文書館二階展示回廊パネル展示の見学風景
近日公開予定

大学文書館では、この夏から二階展示回廊でパネル展示「札幌キャンパスを歩く」あの時あの場所、今昔」を実施します。正門、古河講堂、クラーク像、ポプラ並木、工学部、恵迪寮、第二農場などポイントを絞って、写真や図でキャンパスの建物・風景・雰囲気の変遷を紹介します。また、函館キャンパスの様子もパネルにしています。

九〇年前の札幌キャンパス図やパネル展示で予習をして、実際に札幌キャンパス一〇〇年の歴史を歩いてみませんか。



SDGs

連載 第5回

「SDGsの17のゴール、169のターゲットは多すぎるわけではない」

北海道大学SDGs事業推進部門 教授 加藤 悟



SDGsは17のゴール、169のターゲットで構成されており、2030年を目標年にしたものであるが、折り返し地点を越えた今、目標を達成することはかなり難しい状況になっている。

SDGsは2015年に国連において全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の一部であり、17のゴール等は具体的なアクションを行うための事例と理解する方がよい。しかも17の目標は独立しているわけではなく、相互関係(リンケージ)を持っている。一つの目標が進むと、他の目標も進んでいき、連鎖的に複数の目標が進んでいるような現象はSDGsドミノと呼ばれている。

有名な例としては、世界食糧計画(WFP)の「学校給食プログラム」がある。これは、学校で給食を出すことで、子供の栄養状態が改善され、多くの子供が学習できるようになる。さらに、給食の材料を周囲の農家から買うことで地域の経済も向上し、教育が行き届くことで雇用機会も増加するというものである。

リクルートホールディングスは、報告書「Recruit Group Profile:Inside Out 2020」において、「目標10「人や国の不平等をなくそう」をドミノの1つ目に置くことで、より大きなインパクトを生むとし、ドミノのような連鎖反応を起こして社会的な成果につなげていくことを意図し、目標に取り組んでいきます」と発信している(図)。リクルートのビジネスは、個人と企業をつなぐというミッションをSDGsで表現した好例といえる。



さらにSDGsの前身であったMDGsが「国際社会の支援を必要とする課題」を示し、国際支援の重要性を訴えてきたことを忘れてはならない。SDGsは、各国の事情があるので、まずは自国のSDGs的な課題を認識し、地球上の全員で取り組もうということだったが、経済的に取り組みが遅れている国や地域には支援が欠かせない。支援で何をしていくかという時に、支援を受ける側は自分たちのSDGsリンケージを明らかにしておく、高いコストパフォーマンスを得ることができる。たとえば、小児予防接種のためのワクチン接種を支援することで、接種する医師も増え、衛生教育が普及し、女性への教育も進むことが期待されている。

SDGsのリンケージを見極めた上で、効果の高いところに重点的に資金を投じたり、支援を実施するという計画を作ることに、数多くあるSDGsはとても役に立っているのである。



クラーク書籍便り Vol.19		クラーク 4月一般書ランキング					
	書名	著者名	出版社		書名	著者名	出版社
1	会社四季報業界地図 2024年版		東洋経済新報社	6	変な家	雨穴	飛鳥新社
2	三体	劉慈欣	早川書房	7	魔女狩りのヨーロッパ史	池上俊一	岩波書店
3	アイヌもやもや	北原モコットウナシ	303 BOOKS	8	人間性の進化的起源	ケヴィン・レイランド	勁草書房
4	オープンハイマー 上	カイ・バード	早川書房	9	なぜ働いていると本が読めなくなるのか	三宅香帆	集英社
5	これが本当のWebテストだ! 1 2026年度版	SPIノートの会	講談社	10	バッタを倒すぜ アフリカで	前野ウルド浩太郎	光文社

「アイヌもやもや」は北大教員の新刊で、著者推薦の関連書も動いています。「なぜ働いていると本が・・・」は読書人永遠のテーマ(?),日本人の仕事と読書の変遷をたどり、日本の労働の問題点を別出。あらゆる趣味人にオススメです。

心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



大学で心理支援の専門家を養成するための入門授業を担当していて、様々な問題を抱えてやってくる人たちと心理専門家との関係を、実感として感じてもらえるような本はないかと考えていて、思い当たったのがこの二冊です。両方とも作家の手になるもので、心理学や精神医学の専門家の書いたものではありません。専門家が心理面接の様子を一般向けに書いた本で、優れた内容のものもあるのですが、それらは専門家ならではの分析の伶俐さのようなものが目立つように思えて、相手と向かい合う姿勢やまなざしという点で、私は作家によるこれらの本の方を勧めたくなくなってしまいました。

永沢光雄は一九五九年生まれ。スポーツや風俗をテーマにしたノンフィクション作品を残しました。『AV女優』は一九九六年に出版された著作で、その名の通りアダルトビデオに出演する女優たちへのインタビュー集です。生い立ちや来歴を聞く中で、女優たち一人々々の人となりや浮かび上がってゆきます。大変な生い立ちを抱えた人が多いのですが、著者のまなざしは、いづれどこかあたたかい。永沢光雄はシャイな人ですから、ほのかにあなたがかさですね。偏見の対象になりがちな人たちに対して、いつも対等なまなざしを向け続けました。この本の読者は女性が多いというのも、わかるような気がします。著者は二十代の頃から起きていた時は常に酒を口にしていて、アルコール依存症で、うつ病でもあったといいますが、そういつたことが関係しているのかもしれない。過度のアルコール摂取の影響もあつたのでしょうか、後に下咽頭痛となつて声を失います。私は、ああ、このままじゃこの人死んじゃう...とはらはらしていたのですが、やはり四七歳でアルコール性の肝機能障害で亡くなつてしまいました。

村上春樹は、言うまでもなく現代日本を代表する作家です。『アンダーグラウンド』は、

こころの健康を考える 85

こころの健康ブック・レギュラー
永沢光雄『AV女優』/
村上春樹『アンダーグラウンド』

地下鉄サリン事件被害者を対象にした、こちらもインタビューストリー集です。一九九七年出版。当時はまだ光の当たっていなかった犯罪被害者の声を伝える、先駆的な作品でした。インタビューストリーの記述は、相手に内容の確認を求め、その人のありのままを伝えるために、作家としての文章技法を駆使したものです。そのことが最も表れているのは、アイランド人被害者に英語で行われたインタビューストリー、翻訳家でもある村上春樹の文章の素晴らしさには、目を見張る思いがします。相手を好きになろうとし、相手の心で感じようとしたと、著者は述べます。心理支援においては、相手に対しておだやかな好感を持つと良いとも

いうのですが、非常に通ずるものを感じます。巻末に置かれた夫を亡くした女性のインタビューは圧巻です。その帰路、著者は涙が止まらなくなり、体の中にこんなにも沢山の涙があつたのかと思うほど流れて、それが止んだ時、自分の心が変わつていた、と別の著作で述べています。

人を尊重するとはどういうことか、相手と対等な立場に立つとはどういうことか、ということを、それぞれの著作自体が体現していると思えます。作家による推敲を重ねた文章が、それを可能にしたと言ふべきでしょうか。

まあ、あえて欠点を言うとも、両方とも文庫本で七百ページ前後と分量が多いこと。とくに『アンダーグラウンド』の方は、本文二段組みです。私はこの本を読むまでに長い時間を要したことを、告白します。もっとも読んだ後は、何でもっと早く読まなかつたんだ！と、後悔したのですが、皆さんはマネしないでください。

ほけんのお話

今回は、最近普及している「セーフティ・サポーターカー（以下、サポカー）」のお話です。サポカーはサポカーでも衝突被害軽減ブレーキ(ABS)、ペダル踏み間違い急発進抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載したサポカーSについてです。これに自動駐車機能を搭載したのも出てきています。今後標準装備になっていくでしょう。高齢者の方は、「自分が乗る最後の車だ」と買い替える方もいるかもしれません。件数が多い操作ミスや確認ミスによる事故は確実に減少すること間違いなしです。(筆者の使用感、周囲の状況がモニターで360度確認でき、障害物に接近する箇所に黄色いアラーム映像、接近しすぎると警報が鳴る、車線逸脱警報はハンドルが中央白線に近づくとハンドルを左に寄せる力が働く、など結構評価できる機能です。スパーなどの駐車場では正確に駐車できる自動駐車機能は感動的です。)

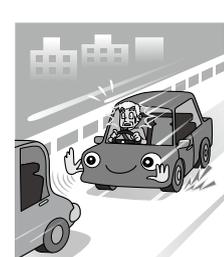
安全運転に有効なサポカーを購入するにあたって、考えておいたらいことがあります。

イ、十分な説明を受けること、できれば実地運転でよく確認すること(今ままでお知り自身が安全に運転すること、心かげ、いざというときに損害を軽減する機能だと考えること。センサーが認識しなくて衝突する可能性が0ではない。)

ロ、様々な機能を制御するコンピューター、カメラ、センサーなどを搭載しているため車体価格が高く、当然事故により修理する場合に部品代や修理代も高くなること

ハ、自分が気をつけていても事故に遭遇するもの。事故の際の車両の損害に備えて、付帯しない場合より保険料が高くなるが、結構多い自損事故も補償する一般条件の車両保険を付帯すること

物価が日々高くなつてくる状況下、家計が許すなら、安全に運転する環境を整え、自分や家族の生活を守るためにサポカーはおすすめです。



北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

■履修相談会MANAVI

4月6日、7日に全体説明会、4月8日～4月12日には個別相談会を実施しました！全体説明会では履修登録の際に気をつけるべきことを紹介し、個別相談会では1対1での質問対応を行いました。全体説明会には2013人、個別相談会には320人の新入生に参加していただきました！他にも履修登録制度についてまとめた冊子「MANAVI+」の作成や公式LINEでの質問対応も行いました。

■春友祭

4月6日、7日に新入生交流企画「春友祭」を実施しました！他の新入生と交流できるレクリエーションや北大に関するクイズを行いました。2日間通して630人の新入生に参加していただきました！

■北大生の生活

新入生向け冊子「北大生の生活」の作成を行いました！新入生の不安を解消し、より大学生活を楽しむことができる内容をまとめました。

■受験生歓迎活動

2月23日、24日に試験本番前の受験生と北大生が話す企画「北大生と話そう」を中央食堂や札幌市内のホテルで実施し、2日間で108人の方に参加していただきました！また、受験生応援冊子「いな蔵」の作成も行いました。

院生委員会

■新入院生歓迎会を開催しました！

4月21日、中央食堂2階にて「新入院生歓迎会2024」を開催しました！今年度新たに北大文学院に進学した修士1年生6名の参加があり、自己紹介やランキングゲームなどをして盛り上がりました！今後も院生同士のつながりを深める活動を継続していきます。



■現勢7名で活動中！

5月17日に2024年度第1回委員会を開催し、今年度の活動の見通しや方針について話し合いました。院生はどんなニーズを抱えているのか？院生委員だからこそできることは何か？など、活動の根幹に関わる議論を始めています。また6月から新たなメンバーも加わり、現勢7名で活動中！まだまだ募集していますので、院生のために何か活動してみたい！院生同士のつながりを作りたい！という方は院生委員会(huinsei@gmail.com)宛にご連絡ください。

留学生委員会

■新入留学生オリエンテーションで生協のブースを開設しました

4月3日、新入留学生向けの大学主催のオリエンテーションにて、生協のブースを開設しました。生協について留学生に広く知ってもらっための場を設けることができました。また、生協への即時加入ブースを開設し、生協への加入を促しました。

■ウェルカムパーティーを開催しました

主に新入留学生を対象に中央食堂2階にて、ウェルカムパーティーを開催しました。北大ジャズ研究会によるジャズの演奏から始まり、留学生は各自のテーブルで他の学生と話に花を咲かせていました。生協の説明、留学生委員会の説明を行い、北海道などに関するクイズを楽しんだあと、軽食が振る舞われました。軽食にはハラルフードも用意されており、宗教上の食事の制限等にかかわらず、すべての生徒を歓迎する場となりました。



教職員委員会

■教職員総代会議…4月10日11日、5月8日9日、6月11日12日の昼休みにWeb会議により開催しました

2023年度の決算についてのご意見や、4月から販売開始した内製弁当やベークドサンドについてのご意見の他、書籍の校費購入時の割引率についてのご意見をいただきました。また食堂店舗の混雑についてもご意見をいただいています。今後も総代会議でさまざまなテーマでご意見をいただければと思います。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

■教職員委員会…毎月の定例会議を開催し、きぼうの虹の編集および総代会議での意見について話し合いました。

■「きぼうの虹」：毎回Opinionや特集ページなどで、多くの教職員の方にご寄稿をいただいています。研究内容や問題意識をお寄せいただける方、大募集です。

【編集後記】

前回発行は4月で、まだ雪も残る寒い季節でしたが、もう緑まぶしく暑い季節になりました。北大祭も終わって研究も本格化する頃でしょうか。今年も「きぼうの虹フォトコンテスト」を開催します。北大の様々な四季、研究に関わるワンシーン、何気ないキャンパスの日常の「コマ」などを、ぜひお寄せください。すでにスマホに保存されている一枚が「こんな北大もあるのか」と感じてもらえる一枚かも知れませんよ。

北大生協『きぼうの虹』フォトコンテスト

テーマ 「北大百景 2024」

たくさんのエントリーをお待ちしています。

作品募集!

募集期間

7/1^月 ~ 8/31^土



特選1名、入選4名

副賞：北大生協電子マネーポイント
特選 5,000pt・入選 2,000pt



応募要項

- ①参加資格：北大生協組合員であること
- ②募集期間：2024年 7月1日(月)～8月31日(土)
- ③賞：特選1名、入選4名
- ④副賞：北大生協電子マネーポイント(特選 5,000pt、入選 2,000pt)
- ⑤応募方法：お一人様1点に限らせていただきます
(1)Web サイトから応募
(2)投稿フォームに必要事項登録の上ファイル(投稿写真、jpg)を添付してください
(3)画像ファイルは5MB以内(デジタルカメラ・スマートフォン等の媒体は問いません)
(4)北海道大学および北海道大学生協に関するモノであること

- ⑥結果発表：
教職員組織委員会機関誌「きぼうの虹」およびホームページで発表
なお、入選された作品の応募者の所属と氏名を掲載させていただきます

- ⑦注意事項：
応募作品に関する著作権及びそれと同等の権利は、応募者に帰属します。被写体に人物が含まれる場合、応募者本人の責任において事前に被写体の承諾を得る等、肖像権等の侵害の問題が生じないようことを応募の条件とします。
北大生協は、全応募作品を応募者の承諾を要することなく無償で使用する権利を有しま

す。以下の内容で応募作品を無償で使用する場合があります。

- 1) 各種出版物・広報宣伝物への掲載(機関誌、各種冊子、SNS、ホームページ等)
- 2) 北海道大学の広報。誘致活動への利用の要望に対しての貸出
- 3) 営利以外の目的で二次利用(複製、加工、上映、頒布)できるものとします
- 4) 商用利用(カレンダー等)も、無償で使用します
※北大カレンダーは横構図の写真のみ対象となります。
- 5) その他、大学などから使用の要望が入ることがあります。

本フォトコンテストにご応募いただいた時点で、この規約にご同意いただいたものとみなします
必ず、応募要項をご確認ください

⑧お問い合わせ先：

北海道大学生協同組合 理事会室
TEL：011-746-6218 (平日) 10:00～17:00
E-mail：seikyuu@coop.hokudai.ac.jp



応募はこちらから

北大生協 フォトコン

検索

主催：北大生協教職員委員会